

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	海洋生物多様性保全関係経費		担当部局庁	自然環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度		担当課室	自然環境計画課		課長 塚本瑞天		
会計区分	一般会計		施策名	5-2 自然環境の保全・再生				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	生物多様性国家戦略2010 海洋基本計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海洋基本法やそれに基づく海洋基本計画には、海洋環境の保全や海洋生物多様性の確保がうたわれている。また、生物多様性国家戦略2010においては、海洋生物多様性保全戦略の策定が明記されている。これを踏まえ、海洋生物多様性の保全のための戦略策定とともに、その一つの手段である海洋保護区の設定に向けた取組を行う。また、海洋生態系の中でも重要な生態系であるサンゴ礁保全のための国内の行動計画を策定し、その実施を推進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	海洋生物多様性保全戦略の策定のため、専門家による検討会を開催し、戦略案を作成する。また、生物学的、生態学的に重要な海域の抽出のため、検討の基礎となる既存及び新規の情報収集を行う。さらに、海洋生態系の中でも重要な生態系であるサンゴ礁の保全のため、サンゴ礁生態系保全行動計画を専門家による検討を経て策定し、専門家の助言のもと、その実施の点検を行っていく。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	39	35	58	44	15	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	39	35	58	44	15	
	執行額	38	26	51				
執行率 (%)	97	74	90					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	・海洋生物多様性保全戦略の策定及び実施 完成度を評価する単位がなく、定量的な評価はできない ・サンゴ礁生態系保全行動計画の策定及び実施 完成度を評価する単位がなく、定量的な評価はできない		成果実績		-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	サンゴ礁における危機要因の分析及び対策案の検討、サンゴ礁生態系保全行動計画の策定・点検のための検討を行う事業であるため、定量的な活動指標の設定は困難。		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	自然環境保全調査費	28	15	事業の縮減及び調査地域、検討会回数等の見直しによる経費の節減				
	自然環境保全調査等委託費	16	0					
計	44	15						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>戦略や計画の策定は、定量的に評価することが困難であるが、これを基に施策の方向性が定められるという点において、重要な事業である。特に海洋生物多様性保全戦略における海洋保護区の定義等については、総合海洋制作本部(本部長:内閣総理大臣)における「我が国の海洋保護区の設定のあり方について」の検討を行う際に引用されるなど、海洋国家としての我が国の海洋保全の方向付けに大きな役割を果たしており、今後、これに基づいた海洋保護区の設定の推進に際し、引き続き本事業の重要性は高い。</p> <p>平成22年度に戦略や計画が策定されたので、今後の戦略・計画の実施に関する検討会の開催回数及び検討会委員の人数については、見直しをする余地があるものと思料。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		事業内容を重点化することにより、事業規模を縮減し、予算額を節減すべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減		事業の縮減及び調査地域、検討会回数等の見直しにより経費を節減し概算要求額を減額。	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
-			

○平成22年度海洋生物多様性情報整備及び保全戦略策定業務

環境省
41百万

海域における重要生態系・海洋生物に関する各種データの収集整理、現況評価、既存保全施策のレビューを行うとともに、海洋生物多様性の保全に向けた戦略の検討、策定を行うことにより、海域における海洋保護区のあり方を含めた生物多様性保全を総合的に推進。

【総合評価・請

A.(財)自然環境研究センター
20百万

海洋生物多様性保全戦略策定

【総合評価・請

B.三洋テクノマリン(株)
2百万

海洋生物多様性に係る既存の文献調査

生物多様性センター
19百万

【総合評価・請負

C. アジア航測(株)
19百万

沿岸地域自然環境情報整備、ウェブページ作成
※他予算と併せて契約

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

○平成22年度サンゴ礁保全行動計画策定業務

環境省
11百万

サンゴ礁生態系保全行動計画の策定・推進

【総合評価・請

D.(財)自然環境研究センター
11百万円

行動計画の実施状況の点検方法を検討するとともにサンゴ礁等の保全と持続可能な利用の現状に関する情報の収集分析等を実施

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. (財)自然環境研究センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費		11			
旅費	海洋生物多様性保全戦略検討会	3			
謝金	海洋生物多様性保全戦略ヒアリング	1			
印刷製本費	会議資料、報告書	1			
借料	会場借料	1			
その他	一般管理費、消費税等	3			
計		20	計		0
B.三洋テクノマリン(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	海洋生物多様性に係る既存の文献調査	2			
計		2	計		0
C.アジア航測(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	沿岸地域自然環境情報整備、ウェブページ作成	19			
計		19	計		0
D.(財)自然環境研究センター			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費		5			
旅費		2			
その他	謝金、賃金、通信運搬費、賃借料、印刷製本費、一般管理費、消費税	4			
計		11	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	海洋生物多様性保全戦略策定	20	1	0.99

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三洋テクノマリン(株)	海洋生物多様性に係る既存の文献調査	2	2	0.35

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	アジア航測(株)	沿岸域自然環境情報整備、ウェブページ作成	19	2	0.77

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)自然環境研究センター	サンゴ礁生態系保全行動計画策定・推進	11	1	0.69